

NOW 市政の動き・自分史

city government now
一宮市政報告新聞
一宮市議会議員 岡本将嗣

一宮市議会
3月定例会議会
2月28日開会、3月26日閉会



一宮市議会議員
岡本将嗣

3月定例会 開会

一宮市政運営について簡単に概略をご説明いたします。

平成26年度は、平成17年4月1日に合併をしてから10年目という節目の年になります。この間、総合体育館、市民病院南館、斎場、リサイクルセンター、「iビル」、中央図書館など多くの施設が完成し、それぞれが活用され、市民の皆様から喜ばれているものと思っております。また、新庁舎につきましても、完成が目前となっております。新市建設計画に掲げられた事業への取組もいよいよ最終段階に差し掛かってまいりました。

そんな中、わが国の経済状況は、内閣府が今年1月に発表した月例経済報告では、『景気は、緩やかに回復している。輸出が持ち直しに向かい、各種政策の効果が下支えする

なかで、家計所得や投資が増加し、景気の回復基調が続くことがたいていされる。ただし、海外景気の下振れが、わが国の景気を下押しするリスクとなっている。また、消費税値上げに伴う駆け込み需要及びその反動がみこまれる。』としています。

安倍内閣が進めた緊急経済対策や日本銀行による強力な金融緩和措置などにより、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、緩やかではあります。景気は回復しているとの見方をされており、平成26年では、経済財政運営の改革の基本方針、いわゆる「骨太の方針」を加速させることなどにより、一層の景気回復やデフレからの脱却が進んでいくことが期待されています。その一方で、「景気回復の実感ができない」、「賃金の改善には至っていない」などの声も多く聞かれ、消費税率引き上げ前の駆け込み需要に伴う消費の落ち込み懸念も同時に存在しています。中小企業や自営業の割合が多い本市においては、その産業構造からも景気回復の効果が及ぶまでにはまだまだ時間がかかるものと考えられます。

このような中で、市税収入については、税法改正などによる若干

の増はあるものの、大幅な増収を見込むまでには至らないため、引き続き効果的・効率的な行財政運営に努めるとともに、徹底した行財政改革を推進しなければならぬと考えています。



今議会が最後となります、思い出の議場

平成25年度3月補正予算

補正予算は、長期勤続の退職者が増えたことに伴う退職手当の増、国の補正予算に伴う小中学校の便所改修・改造工事、学校施設非構造部材耐震化工事、及び公共施設整備等基金積立金などがあります。その結果一般会計で9億6,334万2千円の増額、特別会計・企業会計を合わせた全会計では4億1,151万1千円の増額となりました。

3月定例会議会 今回の「私の質問」

3月10日(月)午後4時30分

■ 1項目

『一宮市の子どもの推移』

市民課の人口に関する資料から、人口区分で言う「年少人口」に該当する

単行議案の主なものは、防犯カメラの設置及び運用の適正化を促進するための「一宮市防犯カメラの設置及び運用に関する条例」の制定、としよりの家等について利用料金制を導入し、浴室の使用に係る利用料金を徴収するための「一宮市としよりの家等の設置及び管理に関する条例」の一部改正、市街化調整区域における開発行為及び建築等の許可の基準に関する必要な事項を定めるための「一宮市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例」の制定、「消費税法及び地方税の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例」、「一宮市宮地下駐車場の駐車料金の徴収に関する条例」、愛知県から無償譲渡を受けることに伴い、アイプラザ

一宮を市の施設として設置し、その管理に必要事項を定めるための「アイプラザ一宮の設置及び管理に関する条例」の制定、伝法寺雨水貯留施設用地の取得が制定されました。

このニュースは、日常の議員活動や議会・市政の報告を目的として、話題となっている情報等をピックアップし、不定期に発行するものです。

発行所：岡本将嗣事務所
住所：一宮市真清田1-3-23
連絡先：(0586)24-0767



岡本 将嗣

MASASHI OKAMOTO



HP <http://masashi-okamoto.com>

若さ

スピード

即戦力

0歳から14歳の子どもの毎年1月1日現在の人口を挙げてみると、平成20年は57,914人、平成21年は58,083人、平成22年は58,013人、平成23年は57,808人、平成24年は57,370人、平成25年は56,548人、平成26年は55,818人であり、一宮市の子どもの人口は、平成22年ごろから緩やかに減少局面に入っています。少なくとも平成17年・18年ごろに生まれた子どもについては、出生数と子どもの人口の推移からみて、転入などにより、その世代の子ども人口は増加している傾向があります。

■ 2項目

『子育て支援センターについて』



一宮市中央子育て支援センター

子育て支援センターは、子育て中のため、授乳やオムツ替えの場所の心配や、大きな荷物を抱えて出なければならぬなど、なかなか外出することができないお母さんなどが、

孤立しないよう同じような子育て中の方々が集まり、子どもを遊ばせながら過ごせる場所を提供させていただいております。子どもとのふれあいの場所として、大切な施設であります。利用者の方々も年々増えており、子育てに対して当市も力を注いでいます。

■ 3項目

『保育園について』

一宮市の場合、保育園は、ずっと前から待機児童は0としてきていますが、本当に待機児童が0なのでしょうか？市内の希望保育園にどこでも通園できることで、ある意味保護者の選択を広げた訳ですが、なかなか希望した園に希望者が多いと定員の関係上、入園できません。今までは、入所申込に第3希望まで記入していましたが、平成25年度からは第6希望まで記入するようです。市内全体に保育園があるので、どこにか振り分けてでも待機児童を0としていくこともわかりました。これでは、仕事をする母親(保護者)にとって大変に不便であります。兄弟・姉妹を同じ園に入所出来ない方は、市内の東西南北へ送らなければならぬケースも出てきます。とてもつらく、仕事もできなくなってしまう。

流山市の例ではありますが、送迎保育ステーションなる新しい取り組みをされています。



駅前送迎ステーションから、バスによる送迎

保育園を、iビルに併設することは困難だと思いますが、市の中心として立派な駅があるので、保護者が出勤などの途中、市内の各保育園に通う乳幼児を駅に連れてきた後、ここからそれぞれの保育園にバスで乳幼児を送迎する。夕方には、保護者の仕事が終わる時間に合わせてバスで送られ、保護者に連れられ帰宅する。そんな「送迎保育ステーション」なることができれば、大変喜ばれると思います。場所の問題もありますが、駅周辺の施設の利用も今後考えていただけたらと思います。児童クラブについても、4項目で触れさせていただきましたが、保育園同様待機児童の数も少なくありません。当市の子育て支援が決して他市に劣っているとは思いません。

人口が経るこれからの時代、都市の魅力がその衰退を分ける大きな要素だと思います。その一つが子育てしやすいまちだと思います。今後は是非検討いただくことをお願いし、一般質問を終了しました。

平成26年度市・連区の各行事のお知らせ

◎ 4/3 (木) 東小島公民館
桃花祭

◎ 4/4 (金) 貴船保育園
午前10時〜 入園式

◎ 4/5 (土) 新庁舎記念式典
午前10時〜新庁舎にて

◎ 4/6 (日) 両郷・あたご花見
東小島 花見

◎ 4/8 (火) 貴船連区町内会長
総会 午前9時〜公民館

◎ 4/12 (土) 貴船重陽クラブ
総会 午後1時〜公民館

◎ 5/7 (水) 新庁舎へ引越

連区の皆様へ

新しい年度を向かえ、新たな気持ちで今更以上に、地元の仕事を頑張らせていただきたいと思います。

町内会長さんには、何かとお世話になります。5月の連休明けには、恒例の「地元要望の日」として開催させていただきます。よろしくお願いいたします。岡本 将嗣

岡本将嗣のアルバム

左から、国道22号線の南側、寺島町地内からアンダーパスへの道路、平成25年度の治水課の工事(水路のBOXへの変更)が、完了いたしました。ドライバーの皆さんゾーン30の規制区域ですので、ゆっくりと走行してください。あつというまに、保育園も終了しました。仲良しのおともだちも、今月からは小学校です。近隣の小学校にそれぞれ行かれますが、楽しく元気に通学してください。おめでとう。



22号バイパス南側、水路のボックス化全線完了。



保育園の卒園式、おともだちと一緒に